



Tetote

ご挨拶



世界有数の先進国である日本の陰で、親の不在・児童虐待などの理由で家庭に恵まれず児童養護施設で暮らす子供たちは3万人近くおります。

児童養護施設にいる子供たち、卒園して支援の手立てを失った子供たちを暖かく見守っていききたい、子供みらい基金はそのような思いで設立されました。

昨年2月の設立以来、皆様のご賛同を得て、多くの事業を実施し、子供たちの支援をして参りました。

この度、子供みらい基金の活動などをお知らせする『Tetote』を発行することと致しました。

子供みらい基金のマークにも込められた「子供たちに手を差し伸べ、しっかりと手と手を繋ぎ、その未来を応援していく」という当法人の設立の思いを機関紙の名前にしました。

今後とも、家庭に恵まれない子供たちの未来に何卒寄り添い、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 子供みらい基金 理事長 池田 幸司

活動報告

小学生最後の夏休み プレゼントプロジェクト



子供たちからの感謝状

家庭にいる子供たちのように「パパ、ママ、ディズニーランドに明日連れてって!」という思いにすぐに応えてあげることのできない児童養護施設の子供たち。子供みらい基金では、毎年、児童養護施設にいる小学6年生を「小学生最後の夏休みプレゼントプロジェクト」としてディズニーランドへ招待しています。

昨年は6施設の児童養護施設の児童を招待しました。子供たちの輝く瞳が本当に印象的でした。

児童養護施設の皆様へ

随伴職員も含め、1人1万円ご支援いたします。要綱は6月頃ホームページに掲載予定です。応募多数の場合は抽選となります。

活動
報告

卒園後の未来支援イベントを開催

児童養護施設を卒園する子供たちが、まず直面するのが就職問題です。昨年8月、六本木の港区立麻布区民センターにおいて児童養護施設の卒園生を対象とする「就職・進学 子供みらいセミナー」を開催、22施設120名の参加となり、子供たちの輝かしい未来を応援させていただきました。当日は六本木ヒルズの展望台のチケットも参加者にプレゼントされました。



児童養護施設の皆様へ

本年も開催予定です。詳細はホームページに掲載いたします。

このセミナーを契機として児童養護施設の卒園生を雇用していただいた2社の声です



愛商物流株式会社
代表取締役 阿部 観

はじめに児童養護施設の児童を知ったきっかけが池田さんです。

児童養護施設の内容を聞き単純に応援したいと思いました。世間には知られていない実態を聞き我々が何かお役に立つことが出来ないかをいろいろ考えました。金銭的なものはもちろんですが、就職や保証人の問題などは大いにご協力できると感じました。そこでグループ各社、経営者仲間にも話してみたところ新卒採用、中途ももちろんのこと、住居の問題もすべてクリアできました。

採用に関しては新卒から中途まで人材育成・教育・研修・インターン、と通常よりも手厚く対応し、住居に関しては保証人の問題、生活に必要な家電(テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン)を揃えなるべく負担のないよう考えました。

2017年、弊社で初めて児童養護施設から新卒者を採用いたします。仕事以外にもたくさんのイベントがあります。食事会・野球・フットサル・つり・社員旅行・BQなど楽しんで充実した生活を送ってもらい、小さな目標を一つずつ達成し、いつか大きな夢を叶えていただきたいと思います。



ヴァリエングループ
CEO 今西 高生

一昨年、児童養護施設のクリスマス会に参加致しました。そこで見た光景は私が想像していた逆境に負けずに頑張っている姿というようなものではなく、本当に小さい子供から高校生まで、また職員まで、みんな楽しく人生を送っている姿でした。

しかし、この温かい施設を出れば、環境は一変します。住居の問題、連帯保証人の壁、また家電製品等の生活必需品の購入や、職場でのコミュニケーション、様々な社会の厳しさに直面します。その為、卒業して職についても、2~3年で辞めてしまう子供たちが後を絶たない状況だと聞きました。

そんな彼らを少しでも支援出来ないかと、クリスマス会にて、弊社で卒業生を採用したいので、やる気のある人は是非、声をかけて欲しいとお伝えしました。そして、夏の子供みらい基金主催の合同企業説明会に出席させていただき、ブースに来ていただいた生徒から後日応募をいただき、喜んで採用させていただいた経緯になります。

私達もこれからが本当のサポートが必要な時期だと考えております。沢山の児童養護施設の児童の数からすると、本当に小さな小さな歩みかもしれませんが、千里の道も一歩から、大きな一歩だと思っており、活動を続けていく事が、意義があり必要不可欠だと考えております。

活動
報告

設立記念式典を開催

平成28年11月17日、目黒雅叙園にて設立式典を行い、多くの児童養護施設関係者を始め、会員の皆様、奉仕団体の皆様、多くの方々にお越しいただきました。

池田理事長からは児童養護施設の現状と地域社会の責務について詳しく説明がありました。

ご来賓として、東京都社会福祉協議会児童部会長様、副部会長様、関東ブロック児童養護施設協議会会長様など児童養護施設関係の皆様、福島震災孤児の児童養護施設にも関わっている森まさこ参議院議員（元少子化担当大臣）他、多くの方にご激励をいただきました。



子供みらい基金役員一同
左から 鈴木秀明 監事、池田幸司 理事長
阿部親 副理事長、岸野一夫 副理事長



式典後懇親会の様子



森まさこ参議院議員の祝辞

活動
報告

子供たちのスポーツ支援

大会で子供たちを
激励する池田理事長



サッカー大会（調布基地跡地運動広場）



ドッジボール・バレーボール大会（東京体育館）

昨年は、都内の児童養護施設の子供たちが参加する球技大会「江戸っ子杯」（東京都社会福祉協議会児童部会主催）の後援を致しました。

目を輝かして、真剣にスポーツを楽しむ子供たちのために、今後とも支援を継続して参ります。

活動
報告児童養護施設に花を贈呈し
子供たちの情操を育む
「植育」を推進

提携：一般社団法人 風のみどり塾

保育士を目指す児童養護施設の子供たちへの 支援、奨学生決定

子供みらい基金は、一般の高校生に比べ進学率が極端に少ない児童養護施設の子供たちの卒園後の夢を支援しています。特に、子供時代、家庭に恵まれず不遇だった児童が「将来子供の面倒を見る保育士になりたい!」という夢に寄り添う『子供みらい基金保育士資格取得みらい奨学金制度』を実施しています。(年額60万円(月5万円)2年間)

この度の奨学生、Nさんの作文です
(本人の承諾を得て掲載しています)

『保育士である自分のみらい』

私は、保育士の資格をとって、将来児童養護施設で働きたいと思っています。私は児童養護施設で小さい時から過ごしてきました。過ごしてきて学んだことは、何においても、愛情を注ぐことの大切さでした。私は児童養護施設で過ごしてきて、その他にも学んだことを保育士として、児童養護施設で働いたら活かしていきたいです。

小学校1年生の時に私は児童養護施設に入所しました。私は優秀なんて言えるような子どもではありませんでした。同学年の子と比べられるのがとても嫌で、職員に数え切れないほど反抗ばかりしていました。ですが、職員は私に何度も反抗されても、何度も私のことを見捨てずに真正面から、ぶつかってきてくれました。

中学3年生の時に私はしてはいけないことを何度かしてしまいました。私は「もう呆れられたであろうし、もう見捨てられて当たり前だ」と思ってしまいました。ですが職員は悪いことをしてしまった私の今後について親身になって話合ってくれました。

あの時、職員が自分の時間を私に費やしたり、何度も見捨てずに支えてくれたのは、ただ単に「仕事」と言う理由でできたことじゃないと思います。今だからわかることで

すが、職員は仕事に、子供に、愛情を注いでいたからできたことなのだと気づきました。

今度は私が職員の立場になって、お世話になった児童養護施設で、子どもに精一杯愛情を注いでいきたいと思いました。

児童養護施設で暮らしている子どもは十分に親に愛情を注いでもらえなかった子ども少なくないと思います。私自身も施設出身と言うことで親近感もわくだろうし、何よりも子どもの辛い気持ちが少しでもわかることができるのではないかと思います。

児童養護施設で働いたら、私が施設で学んできたことを、感謝の気持ち、信頼関係を作ることなど活かして働きたいです。

子どもを大事に思って、家族、自分の子どもも思って、精一杯愛情を注いでいきたいです。私のように「児童養護施設で育てて本当によかった」と思ってもらえるように、立派に子どもを育てていきます。

本題に行くまで長くなりましたが、それが私の保育士である自分のみらいです。

児童養護施設の皆様へ

本年の要綱は、11月頃 ホームページに掲載予定です。

◆ ご支援ありがとうございます! ◆

多くの皆様のご賛同、ご支援で、
子供みらい基金は運営されています。

ご支援
いただい
ている皆様

㈱ 未来塾 様
未来塾チャリティ 様
㈱ ハートインターナショナル 様
㈱ 北山興産 様
㈱ ロジネットアドバンス 様
㈱ 鈴和商事 様
㈱ パシ・コム 様
東商物流協同組合チャリティ 様
MIGPチャリティ 様

㈱ ライフアレンジメントoffice 関 様
㈱ テイスト 様
RFS Management ㈱ 様
HRソリューションズ ㈱ 様
なでしこTOKYO ㈱ 様
㈱ パワーウェイブ 様
㈱ ウェブコミュニケーションズ 様
㈱ M・A-Logi 様
(公社) 鎌田財団 様

スガ キョウコ 様
ネオス ㈱ 様
鈴木 克明 様
吉田 真紀子 様
上田 彰 様
渡辺 由紀子 様
瀧 照正 様

(順不同)

ご寄付のお願い

子供みらい基金の活動は皆様の善意で成り立っております。金額、時期の決まっていない「スポットでのご寄付」の他、「毎月の定額寄付」(毎月2万円、1万円、5千円のいずれかとなります。銀行口座自動引き落とし、クレジット決済も可能です)でもお受けしております。お申し込みは下記の方法でお願いします。

お申
し込
み方
法

1. ホームページからお申込み <http://children-future.info/>

2. メールまたはお電話でお申し込み・お問い合わせ

一般社団法人

子供みらい基金 事務局

〒106-0044 東京都港区東麻布3丁目1-6 愛商ビル1F

Tel: 03-5573-4646 Fax: 03-3505-8989 ✉ mirai@children-future.info